みんなの健康ラジオ

『百日咳』

（2019年2月21日放送）

横浜市小児科医会
竹田こどもクリニック
竹田　弘

百日咳とは？

- ひどい咳が、長い間続く感染性の病気です。
- ワクチンのなかった今から70年前は、日本でも10万人がかかり、１万人が死亡する病気でした。
- 現在でも、百日咳に対するワクチンを接種していない赤ちゃんがかかると命を落とすことがあります。
- 四種混合や三種混合に百日咳に対するワクチンが含有されており、日本では生後３か月以降に4回接種していますが、免疫効果は長続きしません。

生後２ヶ月の児と小学生、こどもの親世代に多い.

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*)（n=6,443）の年齢分布（2018年第1週～第39週）

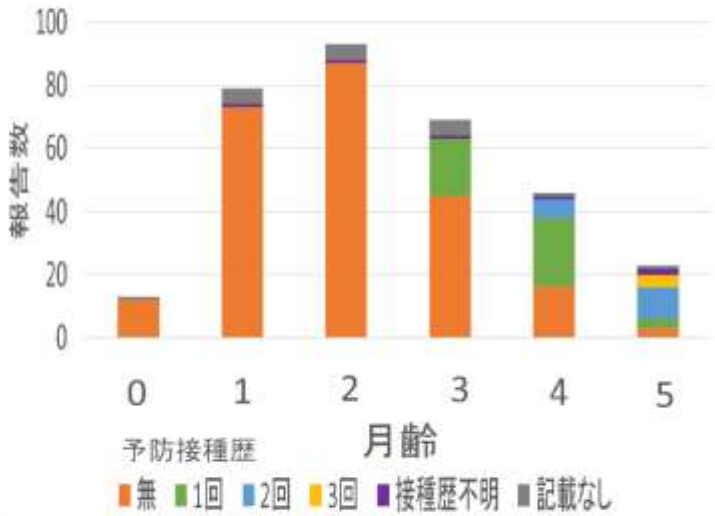
(*)百日咳　感染症法に基づく医師届出ガイドライン（初版）に則った症例のみを抽出
https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html

出典：国立感染症研究所ホームページ（https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis-181108.pdf）より加工して作成

赤ちゃんには家族からうつります

6か月未満症例（2018第1週～第39週）（n=323）

月齢別報告数



6か月未満では、予防接種を受けていない児に多い

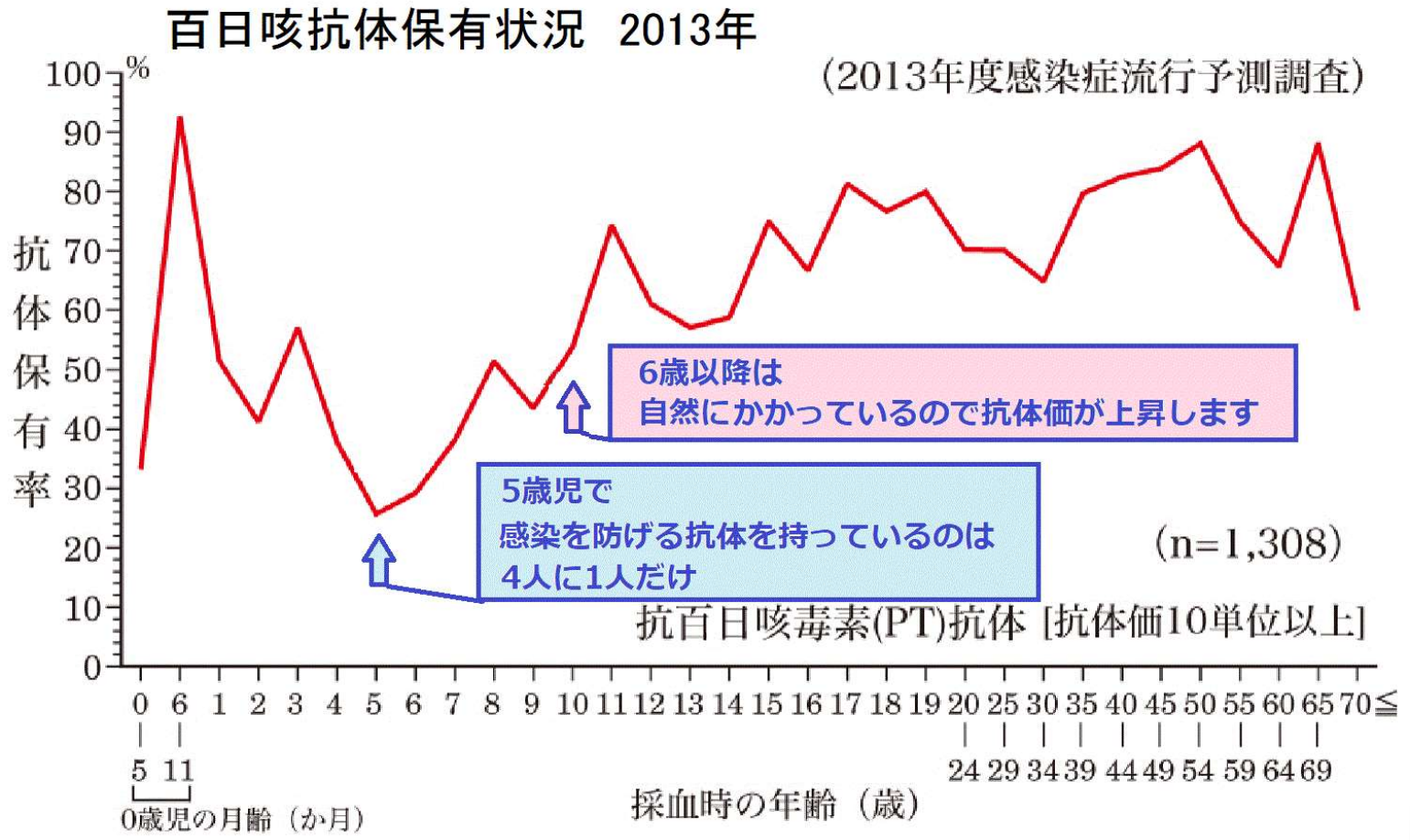
感染経路

推定感染経路（重複あり）	症例数	%
母親	54	17
父親	57	18
同胞	127	39
祖父母	17	5
その他	15	5
不明	62	19

その他の内訳：いとこ(6)、叔母(5)、叔父、同胞が通う保育園の保育士、曾祖母、
出生時に同室入院中していた他児の母親
（他児も確定例として報告あり）

国立感染症研究所ホームページ https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis-181108.pdf より加工して作成

予防接種をしても
免疫は長続きしません



出典：国立感染症研究所ホームページ(https://www.niid.go.jp/niid/images/iasr/2017/02/444tf05.gif)より加工して作成

百日咳を予防するために
いま、できることは？

- **生後３ヶ月になったらすぐに四種混合を**接種しましょう。
- **小学校入学前に三種混合を**接種しましょう。日本小児科学会も推奨しています。　（任意接種=有料です）
- **出産を控えている家庭では、兄弟とお父さんは三種混合を**接種すると良いでしょう。（任意接種=有料です）
- **妊婦さんも**妊娠中あるいは出産後すぐに**三種混合を**接種すると良いでしょう。　（妊娠のたびに三種混合接種をすすめている国もあります）（任意接種=有料です）